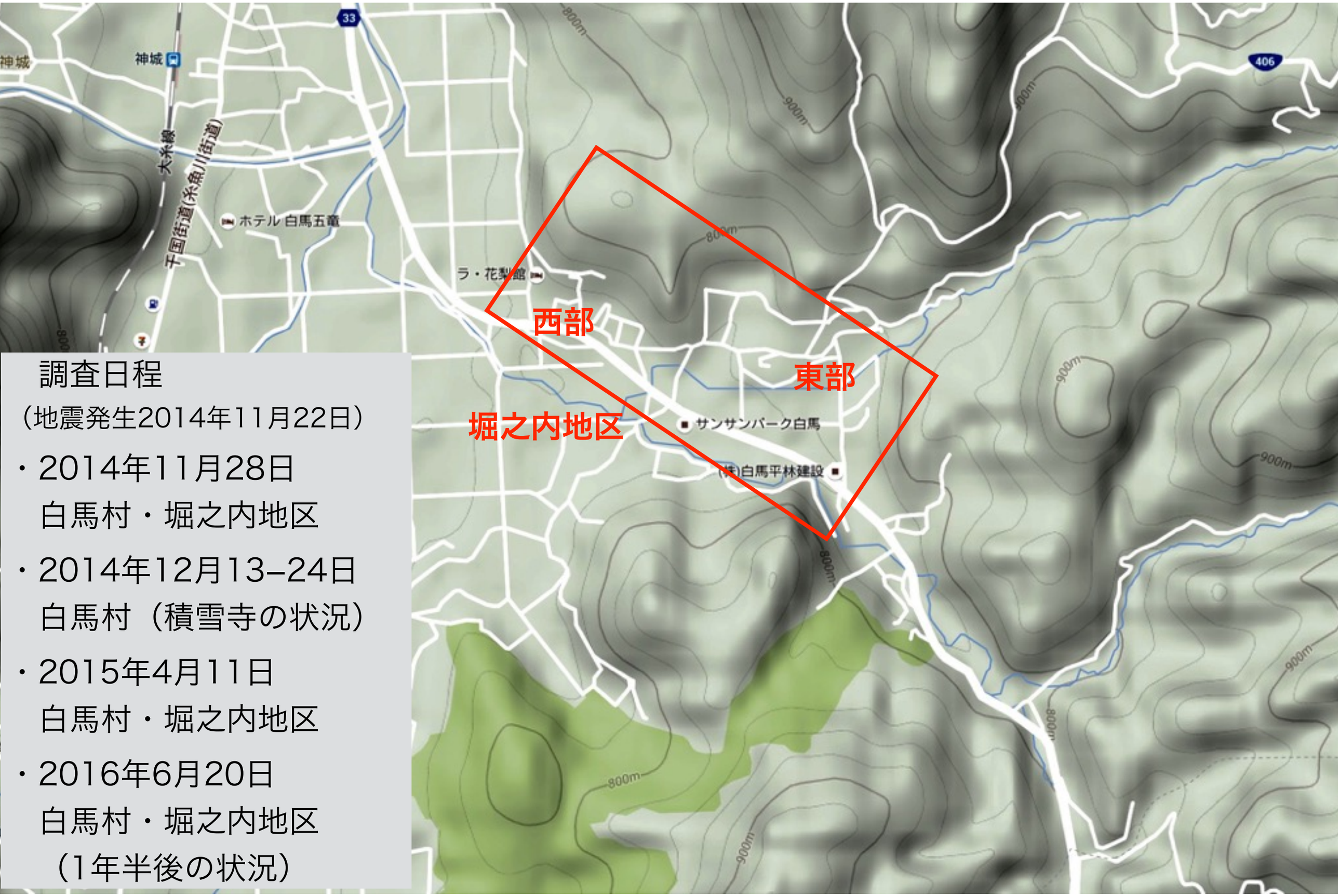
2014年長野県神城断層地震
調査レポート

（一社）住まいと耐震工法研究会・樫原

白馬村（堀之内地区）調査範囲



調査日程
（地震発生2014年11月22日）

- 2014年11月28日
  白馬村・堀之内地区
- 2014年12月13–24日
  白馬村（積雪寺の状況）
- 2015年4月11日
  白馬村・堀之内地区
- 2016年6月20日
  白馬村・堀之内地区
  （1年半後の状況）

（googleマップ地形図を引用）

地震発生一週間目の堀之内地区
2014年11月

小川村あたりでは被害は見えない

白馬町へ入る

白馬村では積雪対策の筋交いを配した家屋が目立つ

堀之内地区に近づいた道路沿いで倒壊家屋に遭遇

停車して倒壊家屋を撮影

堀之内地区と白馬山麓

堀之内地区（東部）の南端に建つ民家

堀之内地区東部に入ると、地盤の変状が目立ち倒壊家屋も見えてくる

グラウンド脇の鉄骨造３階建て住宅
（柱脚根巻コンクリートがすべて横割れ）

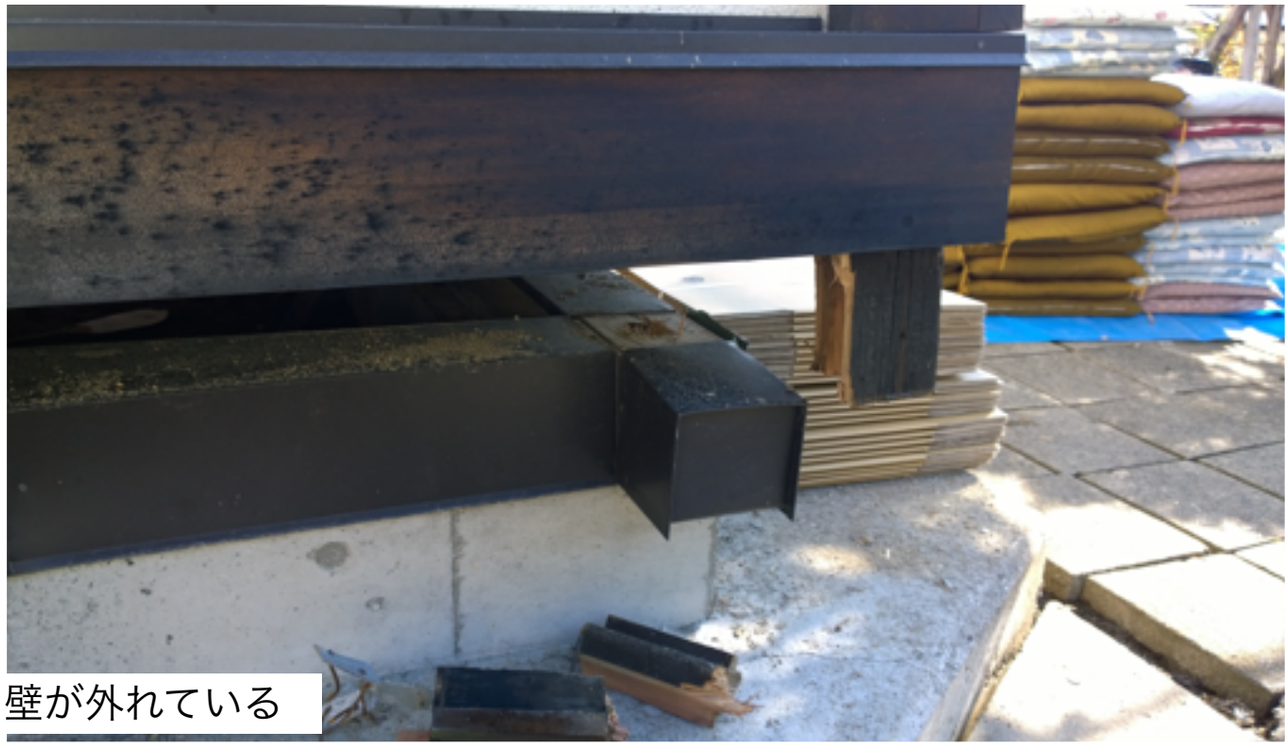
グラウンド脇から民家群を遠望

CB倉庫は全壊

CB塀が倒れて隣家にもたれかかっている

石積み擁壁は各所で崩れている

大被害の家屋



柱脚が引き抜け、壁が外れている

倒壊住宅の土壁と柱脚部の状況

大被害の家屋（民宿）

1階が倒壊した住宅

右側の擁壁が崩壊して、道路も崩れている

外側に孕みだしていた外壁

通行止
富士交通

堀之内地区（東部）

堀之内地区（西部）

外観上被害のない住宅

大きく傾いた伝統的工法の民家

伝統的工法の土蔵

老夫婦二名が無事救出
された住宅
（1階が倒壊し、2階
部分が２m離れた隣家
にもたれかかった）

上記住宅の対面
道路面と住宅下部

堀之内地区（西部）の全景

倉庫（倒壊）と古い民家（傾き）

「昔（日清戦争の前）の家だから、材料もよくて、貫構造なんだ。この辺はすごく強い揺れだったんじゃないか。地盤が悪いって聞いたことはなかったけれど、状況をみれば、そうだったんだろうな。けれどペシャンコにはならなかった」（家主談）

倒壊は比較的新しい住宅ばかりだった

内部では大黒柱が折損

堀之内地区で最も古い、築200年の民家

公民館は倒壊（前面道路のひび割れが目立つ）

積雪寺の堀之内地区　2014年12月

（小川悦子撮影）

根巻きコンクリートがひび割れた鉄骨造住宅

（小川悦子撮影）

雪解け時の堀之内地区（2015年4月）

堀之内地区（東部）の南端に建つ民家は積雪のため倒壊していた

根巻きコンクリート被害の住宅は積雪でも無事だった

堀之内地区（西部）

公民館前の墓地は積雪前と同じ状況だった

公民館は積雪前に解体されていた

積雪に耐えた古い木造民家群

震災1年半後（2016年6月20日）
堀之内地区（東部）

堀之内地区（東部）住宅戸数は減っている

大きく崩れかけた擁壁は補修工事中

住宅擁壁の規則的な亀裂跡（地割れの目立ったグラウンド沿い）

倒れていた墓石は立ち直しされたが、崩れた擁壁と陥没した道路の補修は右手の下部擁壁を工事中

倒壊した住宅の建て替えがはじまり、数軒はすでに完成

築200年の民家は撤去され崩れた擁壁が作り替えられていた

修復整備された堀之内公民館前の墓地

復興住宅（村営住宅）のための整地が始まっていた

液状化跡が補修された県道脇の歩道